



インフルエンザについて

米の山病院小児科部長 田島重吉

08年も、11月末に大牟田市のA高校の2年生のクラスが、インフルエンザで学級閉鎖になりました。数人が米の山病院でも治療しましたが、注意してください。基本は早めに予防接種を受けることですが、罹った場合は以下のことを参考にしてください。

< 38度以上の熱がでた時の対応 >

熱が出たときは、保育園や学校等を休ませて病院を受診してください。
インフルエンザでは、**熱が下がって3日目から登園・登校**してください。

(1) はじめに

インフルエンザは普通の風邪と違って、高熱がでて頭痛・関節痛・全身倦怠感・食欲不振などの症状が強くなります。**潜伏期間は2～3日**と短く、**感染力の強い**病気です。子供では、稀に脳炎や脳症による意識障害や痙攣を起こす事があります。

(2) インフルエンザ迅速試験について

熱がでて12時間以内は約7割の方は陽性にでますが、3割の方はインフルエンザであっても陰性にでます。陰性でも、インフルエンザが疑わしい時は、医師の判断で薬を出す事があります。

(3) タミフル(インフルエンザの薬)について

熱がでて48時間以内に薬を飲まないとな効果がありません。**薬は5日間飲みます。**薬を飲むと30時間以内に解熱しますが、解熱しても2日間はウイルスの排泄が50%あります。薬を2～3日で止めると家庭内・集団内の感染源となります。

* タミフル内服中の注意について

インフルエンザでタミフルを飲んだ場合に、意識障害や痙攣が話題になり、因果関係が調査されましたが、結論は出ませんでした。ただ、異常な行動や言動は、最初に飲んだ直後が多いため、はじめの2～3時間は、お子さまから目を離さないでください。少なくとも、**2日間はお子さまを一人にしないで下さい。**

* 1才未満および10才～19才の方には、タミフルは原則として処方しないことになっています。

* タミフルが使用できない年令の方には、麻黄湯という漢方薬やリレンザという吸入薬があります。

(4) 集団生活復帰について

インフルエンザの薬を飲んで早く熱が下がっても、解熱後3日目からの復帰が適切です。

(5) インフルエンザにかからないために

インフルエンザをはじめ感染性の病気を予防するには、予防接種とともに **うがい 手洗い マスクの着用** できるだけ人ゴミは避ける 等を心がけましょう。

